

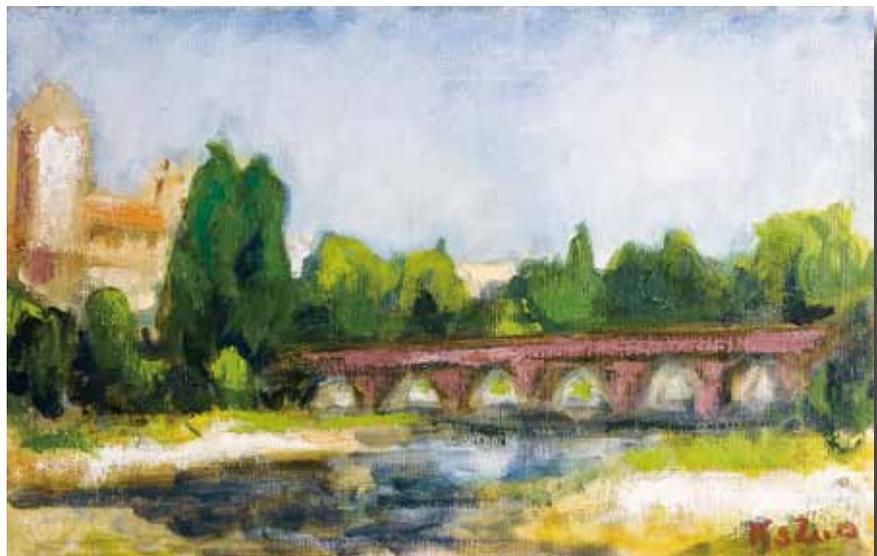


懸虹

特集

フットケアについて

- 慢性疼痛外来スタート
- 三春町第一保育所指定管理スタート
- ほしくま絵本完成
- 最新CT導入
- 開設90周年記念式典
- 施設ニュース
- トピックス



サラマンカの橋 (M10、2002)

星 一雄

【醫】

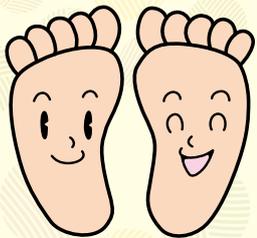
【靈】

東日本大震災から丸四年が過ぎ、今年も桜の季節になった。ニュースでは、富岡町夜ノ森の桜の見事な咲き様とともに、ほんの一部分を除いては未だ自由に花見をすることも叶わない町民の苦悩を伝えていた。桜は、我々にとつて特別なものだ。古より桜を愛でる習慣があったし、近代に入ってから、特に染井吉野が四月の初旬に咲くことから、新たなスタートを切る様々な場面の象徴のような存在になった。自分の人生を振り返っても、出会いや旅立ちの節目にいつも爛漫と咲き誇る桜の姿があつた。今でも思い浮かぶのが小学校の通学の途中に咲いていた棚倉城跡の桜だ。お堀の土手沿いに咲き連なる桜の様子は、私の原風景の一つになっている。そして、我々日本人の琴線に触れるのはその咲き様だ。地域の桜が一斉に咲いたかと思うと、十日も経つと一斉に散り始める。見事に潔い。散り際のはらはらと花びらが舞い散る姿など儚さすら感じる。

さて、被災地から離れて暮らす人々が故郷の桜の下に集うのはいつになるのだろうか。桜は容易に枯れはしないだろうが、一度壊れてしまった人の生活を元に戻すことは容易ではないし、避難している多くが高齢者だ。我々は、ともするとあの辛い日の記憶も薄れがちになるが、桜の季節を迎える度に心を痛める人々がいることを決して忘れてはいけない。

星総合病院
総合相談・地域連携室課長

椎名 亨



フットケア について



星総合病院 形成外科
(東邦大学 形成外科)

山田 哲郎

はじめに

巻き爪や靴擦れで痛くて歩けない、白癬(水虫)でかゆい、長時間歩行すると足が重くなる、などを自覚することは日常的に認められることですが、一般的に行われている治療や生活指導により改善、治癒します。しかし、何らかの疾患・障害をもつことで日常的によくみられる足疾患から壊疽に至り、足切断を余儀なくされることがあります。近年、食生活の欧米化により糖尿病罹患患者が増加傾向にあり、それに伴い糖尿病や閉塞性動脈硬化症(ASO)による透析患者の下肢切断率も上昇しています。

フットケアとは、「少しでも長く歩ける足をまもり、足から全身をみること」であります。足の切断は、ADL(日常生活動作)だけでなく、QOL(生活の質)の低下を招きます。だからこそ、フットケアが今後の重要な課題として普及がすすんでいます。ここでは、われわれが導入している基本的な考え方を紹介します。

足の診察

フットケアにおける足診察には、角質は肥厚していないか、足は冷たくないか、皮膚が乾燥して亀裂はないか、爪の変形や白癬はないか、などいくつか観察項目があります(図1)。さらには、足の変形、歩き方や履物によっても胼胝(たこ)や靴擦れ、褥瘡(床ずれ)を発症するリスクとなります。重篤な事態に陥る前には必ず初期症状があり、日常的な病変を早期発見し、対処していくことが重要といえます。また、皮膚の乾燥や亀裂、角質異常、靴擦れ、爪周囲炎などは予防可能であるため、自宅で行える簡単なケア方法を知ることがフットケアへの第一歩となります。



図1 爪疾患(左:爪白癬 右:巻き爪)

フットケアが特に必要な疾患

高齢者、糖尿病、ASO、リウマチなどが足部潰瘍・壊疽のハイリスクグループになります(表1)。これらは単独で足病変を発症することもあります。多くは複数の疾患、病態が混在した状態となり、さらに足切断に至る可能性が高いと言えます。特に、ASOは足切断の危険性が高い疾患です。足への血流が障害され、足の痛みや冷感を自覚し、足趾(足の指)の皮膚が徐々に暗紫色となり、足趾の潰瘍や壊疽に至ります(図2)。感染を併発したり重度の動脈硬化症の場合は、足趾壊疽が徐々に中枢へ広がり、下肢切断を余儀なくされる症例もあります。



図2 足壊疽

「足部潰瘍、壊疽のハイリスクグループ」

- | | |
|--------|---------------------------|
| ① 動脈性 | : ASO、バージャー病、コレステロール塞栓症など |
| ② 静脈性 | : 静脈瘤、深部静脈血栓症など |
| ③ 神経原性 | : 糖尿病、脳疾患など |
| ④ 感染性 | : 壊死性筋膜炎、骨髄炎など |
| ⑤ 膠原病性 | : リウマチ、全身性エリテマトーデスなど |
| ⑥ 外傷性 | : 熱傷、開放骨折など |
| ⑦ 癌性 | |
| ⑧ リンパ性 | |

表1 足部潰瘍、壊疽のハイリスクグループ

下肢閉塞性動脈硬化症

重度の下肢動脈硬化症の状態は重症下肢虚血（CL I）と呼ばれ、「客観的に証明された動脈閉塞性疾患に起因する慢性虚血性安静時疼痛、潰瘍あるいは壊疽のあるすべての肢に対して用いられるべきである」と定義されています。慢性動脈硬化症の重症度分類には、診察から判定するFontaine分類（表2）と、これに客観的評価を加味したRutherford分類（表3）があります。Fontaine分類のⅢ度とⅣ度、Rutherford分類のⅡ度とⅢ度がCL Iに相当します。CL Iの治療は、安静や薬物療法、リハビリテーションなどにより治癒が期待できるものから、血管治療（血行再建）や創傷に対して外科的な治療を行わなければ治癒の見込めないものまで含まれており、治療方針の決定が重要となります。

「Fontain分類」	
I	無症状
II	間歇性跛行
III	安静時疼痛
IVa	限局性の潰瘍、壊疽
IVb	広範性の潰瘍、壊疽

表2 Fontain分類

「Rutherford分類」		
Category	臨床症状	客観的基準
0	無症状	トレッドミル試験あるいは反応性充血テストが正常
1	軽度跛行	トレッドミル試験終了可能：運動後のAP>50mmHg、安静時より25mmHg低下
2	中等度跛行	1と3の間
3	高度跛行	トレッドミル試験終了不可能：運動後のAP<50mmHg
4	虚血性安静時疼痛	安静時AP<40mmHg、足関節もしくは足部のPVRが平坦化、TP<30mmHg
5	軽度組織喪失	安静時AP<60mmHg、足関節もしくは足部のPVRが平坦化、TP<40mmHg
6	広範組織喪失	Category5と同じ

(AP:ankle pressure PVR:pulse volume recording TP:toe pressure)

表3 Rutherford分類

創傷を伴った重症下肢虚血の治療

潰瘍・壊疽を伴ったCL Iの治療においては、下肢末梢動脈への血管内治療やバイパス術などの血行再建術を行い、その後に潰瘍、壊死組織のデブリードマン（感染、壊死組織を切除する外科処置）や壊疽足趾切断術が必要となります。血行再建術は治癒過程の第1段階であり、最終的には血流改善後の創傷治癒までを含めて考える必要があります。このため、血流改善を図る医師（循環器内科医、血管外科医など）と創傷治療を行う医師（形成外科医、整形外科医、皮膚科医など）との協力が不可欠であるといえます。

まとめ

当院では、フットケアに積極的に取り組んでいます。本邦においては血行再建医の不足が問題となっていますが、当院では循環器内科による血管内治療と血管外科によるバイパス術が可能な施設であり、形成外科による創傷管理と連携したチーム医療を行っています。足の傷がなかなか治りにくいなどで悩んでいる方は、ぜひ形成外科までご相談ください。2015年4月現在、第1／3／5週の土曜日にフットケア外来を診療しております。

「慢性疼痛外来」を開設しました

慢性の痛みの要因の多面的評価と新たな治療法の開発を目指し、本年4月、福島県立医科大学医学部に当法人の寄附により新たに疼痛医学講座（寄附講座）が開設されました。疼痛医学の発展のため、同講座と当法人が共同で研究を行います。

講座開設に伴い、星総合病院に東北初となる「慢性疼痛外来」が設置され、講座の医師による診療をスタートしました。

「慢性疼痛外来」について

(1)対象疾患

運動器に関連する慢性の痛みを伴う疾患

(2)担当医師

矢吹 省司 先生

福島県立医科大学 医学部 整形外科教授
疼痛医学講座主任／教授
(星総合病院 慢性疼痛治療センター センター長)

高橋 直人 先生

福島県立医科大学 医学部
疼痛医学講座准教授、疼痛医学講座任期付教員
(星総合病院 慢性疼痛治療センター 副センター長)

(3)診察日

毎週水曜日午後、金曜日午後

*完全予約制となります。

外来予約センター TEL.0120-33-4895



慢性疼痛外来開設式（4月10日開催）の様子

写真左から、渡辺文明病院長補佐、矢吹省司センター長、高橋直人副センター長、遠藤康二郎整形外科統括部長

三春町第1保育所 指定管理スタート

当法人は昨年9月16日付で、三春町の認可保育所「三春町第1保育所」の指定管理者に決定し、4月から管理運営をスタートしました。

当法人の運営する医療・福祉・介護施設などの経験やノウハウを活かし、三春町の目指す「持続発展するまちづくり」に寄与できるよう取り組んで参ります。



【保育理念】

地域とともにたくさんの愛情で一人ひとりを大切に見守り、共に喜ぶ保育を目指します。

【特徴ある保育サービス】

- (1)児童のトータルヘルスサポート
- (2)予防接種の支援
- (3)保健師又は看護師による各種疾病や感染予防の相談指導
- (4)発熱等疾病発症時の対応
- (5)医療機関の見学、敬老園との交流
- (6)管理栄養士による児童及び保護者の食育を推進
- (7)盆踊りや祭礼など町の伝統や文化を取り入れた保育に取り組み、自分の住んでいる町の素晴らしいところを体験。

【保育所の内容】

年 齢	満1歳から就学前まで
保育時間	①基本保育時間 月～金曜日：午前7時30分～午後6時30分まで 土曜日：午前7時30分～午後5時45分まで ②延長保育時間 月～金曜日：午後6時30分～午後7時まで
休 所 日	日曜日・祝日、年末年始
定 員	120名
住 所	田村郡三春町担橋1-4-1
電 話	0247-62-3839

三春町第1保育所 Face book 更新中!

保育園での園児の様子を日々発信しています。ぜひご覧ください。

第1回ほしくま絵本原作コンクール最優秀作品

『しあわせあじの しろいほし』の絵本が完成しました

当法人公式キャラクター「ほしくま」絵本製作プロジェクトの第1弾として、平成26年度に実施した「第1回ほしくま絵本原作コンクール」最優秀作品の絵本が完成しました。

タイトルは『しあわせあじの しろいほし』。応募作品72点の中から最優秀賞に輝いた、三春町在住のイラストレーター宮田美穂さんの作品です。ストーリーはもちろん、絵がとても可愛く、幸せな気持ちになれる素晴らしい作品となっております。

完成した絵本は、子ども達の保育支援を目指して、地域の保育施設、学校、図書館、公共施設等に寄贈させていただきました。なお星総合病院には、患者図書室ほしの杜、外来プレイコーナー、4 T病棟わくわくるーむおよび思春期コーナー等に配架しております。ぜひご一読ください。



※絵本は非売品です。

作者紹介

宮田 美穂



三春町在住のイラストレーター。おもにポスターやチラシのイラスト、キャラクターデザインなどを手がける。夢は何世代にもわたって100年愛され続ける絵本を作る事。

「第2回ほしくま絵本コンクール」開催決定!!

応募要項等の詳細は5月1日付で当法人ホームページやFacebook等でご案内いたします。

皆様のご応募お待ちしております。



お問合せ先 星総合病院 公益事業推進室 椎名 TEL.024-983-5511

星総合病院

最新のCTを導入しました

最新のCT装置『GE Healthcare社製Revolution CT』を導入しました。「画質」「撮影範囲」「時間分解能」の3点が全て最高レベルの性能で備えています。具体的には、最大4cmだった撮影範囲が16cmの範囲を一回転で撮影することができ、撮影時間が大幅に短縮されます。

また、逐次近似画像再構成法の進化版であるASiR-Vを搭載しており、従来の画像再構成法と比較すると、大幅な被曝低減が可能です。

この機種は、国内で6台目の導入となります。



公益財団法人 星総合病院 開設90周年記念式典

4月16日、星ヶ丘体育館において「開設90周年記念式典」を挙りました。参加職員約570名の前で、星北斗理事長が「多くの仲間と仕事ができる喜びを改めて感じている。医療のサービスを越えて、地域の中で生活する全ての人が健康で活力を持って過ごせる社会をつくっていかう」と式辞。引き続き、ベストトレーニー賞(1名)、ベストトレーナー賞(2名)、年間エース賞(1名)、永年勤続表彰(83名)を行いました。

受賞者を代表し、三春町敬老園の熊田好子さんが「自分が果たす役割を自ら考え、実践し、地域の皆様に選ばれ信頼される病院づくりに参加していきます」と謝辞を述べました。式典の後、懇親会が催され、栄養科による春野菜たっぷり味噌スープが振舞われました。

表彰者 (敬称略)



ベストトレーニー賞 (昨年度財団各施設における実習生・研修生のうち、他の規範となる態度で研修をされた方を表彰)

長塚 美樹 (星総合病院 診療部 外科医師)
 /平成26年常磐病院在籍時、乳腺外科医を目指し、いわきの自宅から毎週星総合病院に通って研修を実施。

ベストトレーナー賞 (昨年度財団各施設における実習生・研修生の指導者のうち、特に優秀であった職員に贈られる賞)

増山 郁 (星総合病院 診療部 小児科医師)
 /NICUの開設準備に関わるスタッフへ多数の勉強会を開催。
 NICUのスムーズな開設・運用開始に貢献。

佐藤久美子 (星ヶ丘病院 看護部 看護師)
 /学生が学びやすい環境づくりを行うなど、満足度の高い実習を実施。
 患者さんと真摯に向き合い看護する姿勢は学生にとってのモデル像となった。



年間エース賞

増子 敏夫 (星総合病院 事業本部 管財部)
 /前職電気会社を定年退職後、当財団に平成26年再雇用。永年培った技能を發揮し業務の効率化と経費の削減に貢献した。

※特別表彰の方へは、賞状と記念品等が贈られました。



35年表彰 (6名)

添田 信之 (星総) 大槻 誠 (星総) 鈴木 隆幸 (星総) 佐藤 洋一 (星丘) 小林真里子 (星丘)
 熊田 好子 (敬園)

30年表彰 (6名)

佐藤智恵子 (星総) 山田 美紀 (星総) 佐藤貴美子 (星丘) 小沢 洋子 (星丘) 高野美智子 (三春) 佐藤キクイ (三訪)

25年表彰 (13名)

佐藤 康善 (星総) 滝澤 貴叙 (星総) 蒲生 和子 (星総) 白石 淳子 (星総) 箭内 民子 (星総) 椎根 寿子 (星総)
 佐原 明子 (星総) 二瓶智恵子 (星総) 佐藤 美重 (星総) 折笠 浩 (星総) 辺見 直子 (星総) 渡辺 美佳 (学院)
 中野 康子 (星丘)

20年表彰 (17名)

渡辺 文明 (星総) 鹿又 剛 (星総) 小林 周子 (星総) 菅野ひとみ (星総) 伊藤 浩子 (星総) 水野美祐紀 (星総)
 内藤みさ子 (星総) 川前 孝之 (星総) 松井 義樹 (星総) 渡辺 由紀 (星総) 須賀美枝子 (星丘) 植田 幸子 (星丘)
 江川千加子 (星丘) 佐久間令子 (星丘) 遠藤 信幸 (三春) 佐久間直美 (三春) 竹下 友子 (三春)

15年表彰 (18名)

吉田 正幸 (星総) 根本 優子 (星総) 根本 知香 (星総) 丹伊田紀子 (星総) 黒川 和江 (星総) 野澤恵美子 (星総)
 橋本 直美 (星総) 篠原 祥子 (星総) 渡邊紗知子 (星丘) 佐久間梨華 (星丘) 菅野 紀子 (星丘) 本田美代子 (星丘)
 箭内 公美 (星丘) 林 由美子 (居宅) 喜多見美智子 (オリ) 後藤 梢恵 (オリ) 下枝美記子 (三春) 高橋 敏恵 (星訪)

10年表彰 (23名)

氏家 勇一 (星総) 遠藤康二郎 (星総) 高橋 昌一 (星総) 白岩 智子 (星総)
 相良 愛 (星総) 佐藤 育恵 (星総) 本田 恵 (星総) 飛澤知津子 (星総)
 遠藤 隆子 (星総) 遠藤 智香 (星総) 阿部 幸恵 (星総) 押山 望美 (星総)
 清野 英里 (星丘) 神尾 友美 (星丘) 伊藤亜由美 (星丘) 江島 由美 (星丘)
 佐藤 直美 (丘訪) 中野目葉子 (オリ) 神山 幸恵 (三春) 加藤 美幸 (三春)
 佐藤久美子 (三訪) 平出和歌子 (包括) 谷 佐和子 (星訪)



※星総…星総合病院、星丘…星ヶ丘病院、三春…三春町立三春病院、オリ…介護老人保健施設オリオン、敬園…養護老人ホーム三春町敬老園、学院…ボラリス保健看護学院、星訪…星訪問看護ステーション、丘訪…星ヶ丘訪問看護ステーション、三訪…三春訪問看護ステーション、居宅…居宅介護支援事業所星ヶ丘、包括…芳賀・小原田地域包括支援センター

施設ニュース

星総合病院

こぐま座☆コンサートを開催 3月29日

メグレズホールにおいて、日和田中学校、郡山第四中学校、郡山ザベリオ学園中学校の吹奏楽部による「メモリーオブフレンドシップ～3校合同による～」を開催しました。プログラムは、「天国と地獄」「ディズニープリンセスメドレー」「レミゼラブル」「キッチンシンク」など13曲とアンコール曲3曲。会場からは大きな拍手が送られていました。約300名にご来場いただきました。



星ヶ丘病院・介護老人保健施設オリオン

ボランティアコンサートを開催 3月28日

福島県立医科大学混声合唱団「燦」の皆さんによるボランティアコンサートを開催しました。プログラムは、「となりのトトロ」、「愛燦々」、「ふるさと」、「見上げてごらん夜の星を」など計8曲。のびやかで透明感のある美しい歌声で、様々なジャンルの合唱を披露して下さいました。患者さんや利用者さんは、手拍子をとったり一緒に歌うなど、大いに楽しんでいらっしゃいました。



ほし横塚クリニック

消防訓練を実施しました 2月27日

職員20名が参加し、消防訓練を実施しました。1階ガス湯沸室ガスコンロから出火した場面を想定し、消化器による初期消火、消防機関へ通報する火災報知設備による通報、避難誘導訓練を実施しました。

3月1日～3月7日の春の全国火災予防運動を前に、職員の防火意識の高揚を図る機会となりました。



三春町立三春病院・養護老人ホーム三春町敬老園

業務改善報告会を開催 3月10日

三春病院、三春町敬老園、三春訪問看護ステーションでは、創意工夫により業務改善が図られた各部署における取り組みについて、職員同士が情報共有することを目的として、毎年業務改善報告会を開催しています。平成26年度は、計43題の報告がありました。

報告会当日は60名の職員が出席し、代表者8名による口頭発表が行われました。



ポラリス保健看護学院

平成27年度 入学式 4月4日

メグレズホールにて平成27年度ポラリス保健看護学院入学式を挙行し、40名の新生が入学しました。

新生を代表して、舞木優太さんが「4年間で多くのことを学び、患者さんの苦痛を和らげる看護師になりたい」と誓いの言葉を述べ、看護職への第一歩を踏みだしました。



社会福祉法人 愛星福祉会

星ヶ丘ホーム風「なみえ焼きそば」

星ヶ丘ホームが考案した嚥下食「星ヶ丘ホーム風なみえ焼きそば」が、栄養補助食品販売会社 株式会社ニュートリーが主催する「第5回嚥下食レシピ大賞」コンテストで準優勝にあたる『レシピ賞(エピソード部門)』を受賞しました。

これからも多職種の職員が協力し“口から食べ、飲み込める力”を支えていきます。



トピックス

厚生労働大臣指定講座 一般教育訓練給付制度対象 当法人主催 介護職員初任者研修受講生募集

「介護職員初任者研修」(旧ヘルパー2級資格)は、介護業界への就職や転職、在宅での介護に役立つ資格です。当法人現役職員が講師を務め、充実した研修と実践に近い演習を行います。介護の原理原則が学べ、不安なく自信を持って介護に臨むことができます。仕事が忙しい方、子育て中の方でも受講しやすい土曜・日曜開講です。ぜひお気軽にお問合せください。

受講生募集期間

4月1日(水)～5月23日(土)

研修日程

6月6日(土)～11月14日(土)

土曜・日曜開講 計22日間(計130時間)

会場

ポラリス保健看護学院
(郡山市向河原町159番7号 星総合病院隣)

定員

20名

受講費用

75,600円(テキスト代込)

申込方法

当法人ホームページから申込書及び履歴書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、郵送にてお申し込みください。

お問合せ・申込先

公益財団法人星総合病院
教育研修センター 結城・渡部
〒963-8501 郡山市向河原町159番1号
TEL.024-983-5524(直通)

第7回熊代賞(医師部門) 最優秀賞を受賞

2月22日、福島県立医科大学同窓会館において第26回福島県精神医学会学術大会が開催され、星ヶ丘病院精神科医師の大野望先生が発表した「当院におけるバルプロ酸内服中患者の血小板減少の実態」が見事、第7回熊代賞(医師部門)最優秀賞に輝きました。



ポラリス保健看護学院 保健師・看護師国家試験 合格率100%を達成

3月25日、保健師および看護師の国家試験合格発表があり、14回生42名は保健師・看護師ともに全員が合格。2年連続で、合格率100%を達成しました。

14回生は、東日本大震災の年に入学。大変な時期を乗り越え勉学に励んだ4年間の努力が実を結んだ大変喜ばしい結果となりました。



公益財団法人 星総合病院

●星総合病院

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511

●星総合病院 在宅介護支援センター

TEL 024-983-5515

●ほしのご保育園

TEL 024-983-5519

●星ヶ丘病院

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411

●星ヶ丘訪問看護ステーション

TEL 024-962-1711

●居宅介護支援事業所星ヶ丘

TEL 024-952-6414

●星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号

TEL 024-951-0788

●介護老人保健施設 オリオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字峯三天2番地

TEL 024-952-6413

●三春町立三春病院(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50

TEL 0247-62-3131

●三春訪問看護ステーション

TEL 0247-73-8270

●ほし横塚クリニック

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36

TEL 024-956-7778

●星訪問看護ステーション

TEL 024-956-2322

●芳賀・小原田地域包括支援センター

TEL 024-941-1121

●養護老人ホーム 三春町敬老園(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地の1

TEL 0247-62-3618

●ポラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号

TEL 024-983-5010

●三春町第1保育所(指定管理)

〒963-7769 福島県田村郡三春町担橋1-4-1

TEL 0247-62-3839

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.jp>

発行／公益財団法人星総合病院

編集／法人広報部

発行日／平成27年4月

住所／〒963-8501

郡山市向河原町159番1号

はじめまして。四月から広報部員として働き始めて、初めて懸虹の編集に携わらせて頂きました。新社会人として入職して一か月、これまでポラリス保健看護学院の入学式、開設記念式典、星総合病院の慢性疼痛外来スタートなど、様々なイベント事がありました。私自身、当法人各施設で開かれる各イベントは初めて経験することばかりなので、その時出た皆さんの感じた事など皆さんに分かりやすくお伝えできると努力していきたく思います。どうぞ宜しくお願い致します。

広報担当 太田

編集後記